様式３

有害プランクトン警報
（R7　No.1-2）

令和７年９月１６日
千葉県水産総合研究センター

東京湾でカレニア属のプランクトン(*Karenia mikimotoi*)が、警戒を必要とする基準を超える密度で確認されました。

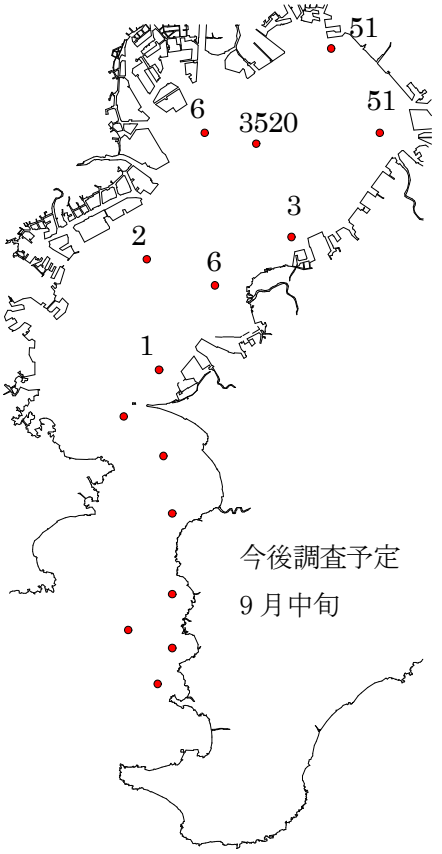
令和７年９月16日に東京湾漁業研究所が行った調査において、有害プランクトンのカレニア ミキモトイ(*Karenia mikimotoi*)が確認されました。

発生密度の高い海域周辺では、養殖魚、蓄養魚などに影響が出る可能性がありますので十分注意して下さい。

また、気象、海象によっては、他の海域でも増加する可能性がありますので注意が必要です。

- 確　認　日　　令和７年９月16日
- 確 認 海 域　　東京湾
- プランクトンの種類　　カレニア　ミキモトイ

警戒基準を超えた調査地点	プランクトン密度（細胞/mL）
アクア北	3,520
注意基準密度	100
警戒基準密度	1,000



調査地点別のプランクトン密度（細胞数/mL）

1 本種は西日本に広く分布する小型のプランクトン（20～40μm）で，海水１mLあたり数千細胞を超えると魚介類のへい死を引き起こす危険性があります。アサリへの死亡例はありませんが，赤潮状態の場合は夜間酸欠になります。
2 人に被害を及ぼす貝毒の原因プランクトンではありません。
3 海況の変化や魚の動きに十分注意し，必要に応じて早めの対応をお願いします。
4 赤潮等，海域の異変を発見した場合は水産総合研究センター，漁業資源課又は水産事務所に連絡してください。

担当　水産総合研究センター
東京湾漁業研究所
電話　0439-65-3071
FAX　0439-65-3072